

エフェクチュエーションで未来を拓く 不確実性下の価値創造

Pioneering the Future through Effectuation; Value Creation under Uncertainty



バージニア大学
教授
サラス・D・サラスバシー

Paul M. Hammaker Professor
Saras D. Sarasvathy
University of Virginia



サイボウズ株式会社
代表取締役社長
青野慶久

Yoshihisa Aono
President and
Representative Director of
Cybozu, Inc.



神戸大学大学院
経営学研究科 准教授
吉田満梨

Associate Professor
Mari Yoshida
Graduate School of
Business Administration
Kobe University

| | |
|----------|---|
| Language | English and Japanese Simultaneous Interpretation |
| 言語 | 英語・日本語（同時通訳有） |

エフェクチュエーションは、近年国内でも注目されている、不確実性の中で新たな価値を創造するアントレプレナーの思考様式です。神戸大学・小樽商科大学・和歌山大学の大学院教育プログラムである「対話型ビジネス価値共創人材養成（BVCC）プログラム」をはじめ、複数の大学・ビジネススクールの教育にも導入され、独立起業する方以外にも、組織内で新たな価値を創造しようとされる組織や個人の方々に広く活用され始めています。

このたび米国からエフェクチュエーションの提唱者であり、世界的に著名な研究者である Saras D. Sarasvathy 教授（バージニア大学）を招聘し、国際シンポジウムを開催いたします。Sarasvathy 教授の基調講演に続き、多様な個性を持つ社員一人ひとりの思考と行動をチームの力に変えるための独自のマネジメントを工夫されている、サイボウズ株式会社の青野慶久社長にもご講演いただきます。

その後、エフェクチュエーションの国内での第一人者吉田満梨准教授をコーディネータとして、Sarasvathy 教授と青野社長と議論します。エフェクチュエーションの実践が組織や社会にどのような未来を拓くのか、コーゼーションと呼ばれる予測合理的な思考とどのように組み合わせられるのか、エフェクチュアルな価値創造をどのように支援することができるのか、などについて、クレイジーキルトの原則を軸に討議します。皆さまと議論し、新たな価値創造の機会にしたいと存じます。

THE DEC. FREE ENTRY
9TH 2025
13:30-17:00 OPEN 13:00



会場：神戸大学百年記念館 六甲ホール Kobe University Centennial Hall

Access: From Hankyu Railway's Rokko Station, JR West's Rokkomichi Station, or Hanshin Railway's Mikage Station, take city bus number 36 bound for Tsurukabu Danchi and get off at the Kobe University Faculty of Letters, Science, and Agriculture bus stop. From Shin-Kobe Station on the Shinkansen, take a taxi for approximately 15 minutes.

アクセス：阪急電車「六甲」駅、JR西日本「六甲道」駅又は、阪神電車「御影」駅から市バス36系統「鶴甲団地」行に乗り「神大文・理・農学部前」下車。新幹線「新神戸」駅からタクシーで約15分。

主催：神戸大学大学院経営学研究科、小樽商科大学大学院商学研究科
和歌山大学大学院観光学研究科

後援：特定非営利活動法人 現代経営学研究所、一般社団法人 神戸経済同友会、神戸商工会議所
協力：神戸大学バリュースクール、PwCコンサルティング合同会社

下記 URL または 2 次コードにてお申込ください
<https://b.kobe-u.ac.jp/bvcc/event/event-5.html>
参加登録締切 12月4日（木）



※満席になり次第締め切ります。※予告なく内容変更の場合がございますのでご了承ください。

サラス・D・サラスバシー【バージニア大学 教授】
Paul M. Hammaker Professor Saras D. Sarasvathy, University of Virginia

インド生まれ。ボンベイ大学卒(統計学)、カーネギーメロン大学、Ph.D(情報システムとアントレプレナーシップ)。1978年ノーベル経済学受賞者であるハーバート・サイモン教授の最晩年の弟子にあたり、熟達した起業家の意思決定についての研究で博士論文を執筆した。現在、バージニア大学ビジネススクール教授(戦略・倫理・アントレプレナーシップ部門)。MBAプログラムのみならず、博士課程プログラムでは、バージニア大学以外にも、デンマーク、インド、クロアチア、南アフリカでも指導している。「エフェクチュエーション (Effectuation) 」という理論を提唱し、著書『Effectuation: Elements of Entrepreneurial Expertise』(2008)は、『エフェクチュエーションー市場創造の実効理論』として、2015年に日本語訳されたものが出版された。以降、ビジネスにおける新しい考え方として注目を集めている。

青野慶久【サイボウズ株式会社 代表取締役社長】
Yoshihisa Aono, President and Representative Director of Cybozu, Inc.

1971年生まれ。愛媛県今治市出身。大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、松下電工(現 パナソニック)を経て、1997年8月愛媛県松山市でサイボウズを設立。2005年4月代表取締役社長に就任。社内のワークスタイル変革を推進し、最高で28%あった離職率を大幅に低減するとともに、3児の父として3度の育児休暇を取得。また2011年から事業のクラウド化を進め、2024年時点でクラウド事業の売上が全体の90%を超えるまで成長。総務省、厚労省、経産省、内閣府、内閣官房の働き方変革プロジェクトの外部アドバイザーを歴任し、SAJ(一般社団法人ソフトウェア協会)の筆頭副会長を務める。著書に『ちよいデキ!』(文春新書)、『チームのことだけ、考えた。』(ダイヤモンド社)、『会社というモンスターが、僕たちを不幸にしているのかもしれない。』(PHP研究所)、監修に『わがままがチームを強くする。』(朝日新聞出版)がある。

吉田満梨【神戸大学大学院経営学研究科 准教授】
Associate Professor Mari Yoshida, Graduate School of Business Administration Kobe University

2009年 神戸大学大学院経営学研究科 博士後期課程修了、首都大学東京 助教、立命館大学 准教授を経て、2021年より現職。マーケティングが専門であり、とりわけ企業のマーケティング行動と、他の市場参加者(他者や顧客など)との相互作用を通じて、新たな製品市場境界が生み出されるプロセスを明らかにすることを研究課題とする。具体的には、各企業の固有の資源及び市場像に基づいた差別化行動や、顧客による使用価値の再定義、革新的な製品・サービスの導入をきっかけに、新たな製品市場が創出されるプロセスの事例分析を行っている。また、カテゴリ拡張的な事業展開が企業の成果に及ぼす影響の実証研究や、革新的な製品・サービスを生み出すプロセスで活用される「非予測的コントロール」に基づく思考様式(effectuation)に関する理論的・経験的研究を行っている。

Program

| | | |
|------|-------------|---|
| 第一部 | 13:30-13:45 | エフェクチュエーションによる 価値創造の可能性 |
| | 13:45-14:45 | 企業家的方法としての エフェクチュエーション Effectuation as an Entrepreneurial Method |
| 基調講演 | | サラス・D・サラスバシー Saras D. Sarasvathy バージニア大学 教授 Paul M. Hammaker Professor Business Administration Academic Director, Batten Institute, University of Virginia |

| | | |
|---------------------|---|---|
| 第二部 | 14:45-15:25 | サイボウズにおける組織変革 青野慶久 |
| | 招待講演 | サイボウズ株式会社代表取締役社長 |
| | 15:25-15:40 | 休憩 |
| | 15:40-16:40 | 組織におけるエフェクチュエーションの実践 Effectuation within Organizations |
| | パネル ディスカッション | パネリスト：サラス・D・サラスバシー 青野慶久 モデレーター：吉田満梨 神戸大学大学院経営学研究科 准教授 |
| | 16:40-16:55 BVCC プログラム紹介 | 大浦由美 和歌山大学大学院観光学研究科長、教授 猪口純路 小樽商科大学大学院商学研究科 アントレプレナーシップ専攻長、教授 |
| 16:55-17:00 閉会挨拶 | 鈴木竜太 神戸大学大学院経営学研究科 教授、 BVCCプログラムディレクター | |

連絡先

神戸大学大学院経営学研究科 産学連携支援室 E-mail: bsan[at]b.kobe-u.ac.jp
※メールの件名は「国際シンポジウムについて」にてご連絡をお願いします。